

総務委員会議事録

1. 日 時 令和4年11月4日（金） 14時～15時30分

2. 場 所 春日井商工会議所 1階 大会議室

3. 出席者数 委員長 1名
委 員 11名
アドバイザー 1名
オブザーバー 1名
副会頭 1名
事務局 8名
合 計 23名

4. 議 題

1. 会員増強に向けた取組みについて
2. 令和4年度行政庁等に対する意見要望（案）について
3. 委員会活動状況について

5. 議 事

課 長 伊藤 伊月

定刻に至り、開会を宣し野村委員長に挨拶を求める。

委 員 長 野村 浩司

挨拶を述べる。

課 長 伊藤 伊月

委員会規程により、議長に野村委員長を指名し、議長就任を要請する。

（委員長 議長に就任）

議 長 野村 浩司

議事に入り、議題1. 会員増強の取組みについて事務局に説明を求める。

課長補佐 高木 雅也

会員増強の取組みについて、会員数の推移、組織率、会員増強運動の概要について資料を基に説明。第19期が終了する10月31日までに4,300会員、組織率41.5%達成を目標に組織拡大委員会を設置し活動した結果、双方ともに目標達成した旨報告。また、加入メリット創出や退会防止に繋げるため、入会歴の浅い会員を中心とした会員交流会を企画検討中である旨説明。

議題1について、組織拡大委員会奥村委員長に補足説明を求める。

副委員長 奥村 久子

総務委員会の委員の皆様にも新規会員の紹介などご協力をいただき目標を達成することができた。10月21日開催の委員会では、目標は達成したものの、この先もさらなる会員増強を図っていく必要があることから、令和4年度末までは現委員で、それ以降は組織改編を検討して継続して取り組んでいくべきとの意見があった旨説明。

議長 野村 浩司

議題1. について、各委員に質問・意見を求める。

委員 峠 貴斗

会員増強や拡大については、どこの組織でも課題であり大事な取り組み事項であるため、継続は必須であると思う。説明のあった目標達成はあくまでも結果であるが、どのようなアイデアがあってこの結果に繋がったのか知りたい。

課長補佐 高木 雅也

DMに関しては、各種助成金等の申請手続きで商工会議所を利用した非会員事業所を中心に抽出。また、加入メリットを前面に打ち出したチラシを新たに作成し会員増強運動に活用した。

委員 峠 貴斗

相手の判断に委ねるDM発送よりも、女性や町おこしをしたい方が多く起業しているため、目的意識のある事業所へのDM発送が良い。

また、会員交流会では名刺交換も良いが、それだけで終わってしまうケースが多いため、ビックネームの講演などを検討してもよいのではないかと。

副会頭 木野瀬 吉孝

会員増強ができたのは、コロナ禍で各種助成金の窓口になり、職員がきめ細かな対応をしたことが大きな要因であるが、これはいつまでも続くことではない。起業家の支援や地元大学と連携した支援など、商工会議所ならではのメリットを打ち出した会員増強運動を今後、検討してもらいたい。

委員 三上 努

会員増強は商工会議所としてやっていくべき事項であると考えている。DMによる加入勧奨については、一般的なDM契約率は0.1%程度であるため、284件中2社の加入は非常に高い数字であることから、リストが良かったのだと思う。

議長 野村 浩司

議題1. について、他に質問・意見を求めるも特にないため、続いて議題2. 令和4年度行政庁等に対する意見要望（案）について事務局に説明を求める。

課 長 伊藤 伊月

令和4年度行政庁等に対する意見要望(案)について、6月に新型コロナウイルス感染症対策を中心とした内容で春日井市に行ったもの以外で、委員会、部会、会員から頂いた内容について要望するものとなる旨説明。

《各要望項目の詳細を、白木次長、蟹江課長、伊藤課長より資料を基に説明》

議 長 野村 浩司

議題2. について、各委員に質問・意見を求める。

委 員 峠 貴斗

インボイス制度導入の延期について、商工会議所会員のどの程度が免税事業者なのか。免税事業者という表記をなしにすれば、課税・免税事業者双方ともに恩恵が受けられる内容なのではないか。

議 長 野村 浩司

議題2. について、他に質問・意見を求めるも特にないため、市産業部森本部長に意見を求める。

オブザーバー 森本 邦博

要望事項については、市で検討できるもの、国へ働きかけるものなど、今後も商工会議所と調整を図りながら、しっかりと対応をしていきたい。

議 長 野村 浩司

続いて議題3. 委員会の活動状況について、事業継続・新事業創出委員会の説明を求める。

委 員 三上 努

事業継続・新事業創出委員会は、直近で委員会は開催できていないが、11月11日にBCP策定支援セミナーを開催する。年度末まで第19期委員会活動をしっかりとやり遂げていきたい。

委 員 服部 律子

雇用促進・人材育成委員会は、2月6日に(株)良品計画 代表取締役会長 金井 政明氏を招いて新春経済講演会を開催する。イーアス春日井にも出店しておりネームバリューのある方であるため、集客などご協力をいただきたい。

委 員 三尾 友貴美

企業間交流・産学連携委員会は、10月5日～7日に関西ものづくりワールドに3社で共同出展した。大手企業と面談ができ今までにない良い機会となった。また、1月17日にはミニ企業展を名古屋商工会議所で開催する。会員企業の販路開拓、取引先拡大のため、まずは名古屋地区を取り込むという考えの下、現

状 23 社の申込となっている。

課 長 服部 佳江

生産性向上・業務効率委員会は、正副委員長欠席のため、事務局より説明。先進的取組み事例の視察会を開催し、(株)イマヨシ、ナビエース(株)に続いて 11 月 14 日に(株)マルト水谷を視察する。視察会を通して得られた成果についても広報していきたいと考えている。また、5 月と 8 月に I T 導入補助金や LINE @を活用した業務改善セミナーを開催した。

委 員 山田 純

活力あるまちづくり委員会は、直近で委員会は開催できていないが、落合公園の官民一体となった利活用について、5 月～9 月まで青年部とともに試験的イベントを開催した。今後、検証及び利活用方法についてまとめ、報告をしたい。

議 長 野村 浩司

以上で議案を終了し、アドバイザーへ意見を求める。

アドバイザー 大嶽 成功

本日から中部大学は 3 年ぶりの大学祭を開催している。その中で最近注目をしているのがダイバーシティ、多様性の問題である。出生者数が減少する中、これからの社会を担っていく方々と多様性の中でどうやって一緒に生活していくのかを学生とともに考え、社会に送り出していく必要性を感じている。その他さまざまな分野での産学官連携を図っていききたいため協力をお願いしたい。

議 長 野村 浩司

続いて、木野瀬副会頭に挨拶を求める。

副 会 頭 木野瀬 吉孝

要望について、会議所としてまとめる手法は大事である。多くの意見を吸い上げ行政に投げかけるのではなく、それがどうして必要なのかという観点がないと受け手が困ってしまうため、議論の積み上げ方法を来年度以降考えていくべきである。

議 長 野村 浩司

本日の総務委員会の閉会を宣す。

課 長 伊藤 伊月

今後の委員会活動について、鈴木事務局長に説明を求める。

事務局長 鈴木 夕雪

一部の方から第 19 期終了に伴い委員会活動も終了するのではないかと質問

があった。委員会には役員議員に所属していただくことになっており、改選に伴う役員議員が確定するのが10月末。これから委員会の再編などを協議していく関係上、第19期が終了する年度の3月末まで活動していただくこととしている。

委員会の再編などが確定次第、所属希望アンケート調査を行い、委員会活動をしたい方が所属したい委員会で活動していただくことになる旨説明。

最後に、情報提供として、アクサ生命保険(株)より新商品の紹介、東京海上日動火災保険(株)より商工会議所保険制度について情報提供を行った。

時に、15時30分